

春季年会は、化学に関する学術の進歩普及・産業の発展および生活の向上を狙いとして、およそ化学という言葉が包括するあらゆる学問領域や分野からの研究者が一堂に会して日頃の研究成果を発表する場であり、その討論を通じて学術交流を奨励・促進する場です。



第103春季年会は4年ぶりに原則対面で実施します。第100春季年会は野田キャンパスで本学として初めて開催する予定で実行委員長として準備してきました。一方、新型コロナウイルスの感染が急激に広がっていた時期であり、苦渋の選択でしたが中止、年会は成立ということになりました。その後2年間は完全オンラインで実施されてきましたが、新型コロナウイルス感染症に対しての状況も変化し、感染症対策を取りながら社会も回して動かすようになってきました。今回は3年前のリベンジとの思いで準備してきました。このような状況下でアジア国際シンポジウムなどに使う1会場はハイフレックスで実施しますが、それ以外はすべて対面で実施できることになりました。野田キャンパスは、年会の時期は桜もきれいであり、キャンパス内外ですばらしい桜並木の下、久しぶりの対面の場でお迎えできることと存じます。年会は、大事なコミュニケーションの場であり、多くの方の参加を心からお待ちしております。

(実行委員長 井手本 康)

主催 公益社団法人 日本化学会

共催 東京理科大学

会期 2023年3月22日(水)～25日(土)

会場 東京理科大学 野田キャンパス

※今後のCOVID-19感染状況によりオンライン方式に変更の可能性あり

実行委員長 井手本 康(東京理科大学 副学長・教授)

内容 アカデミックプログラム

・受賞講演、若い世代の特別講演、口頭A講演、口頭B講演、ポスター

シンポジウム

・イノベーション共創プログラム、中長期テーマシンポジウム、アジア国際シンポジウム、特別企画

併催シンポジウム・行事

・会長講演、表彰式、コラボレーション企画、本委員会主催シンポジウム(市民公開講座等)

講演予稿集発行日 2023年3月8日

問合せ先

日本化学会 企画部 年会係

〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5

URL: <https://confit.atlas.jp/guide/event/csj103rd/top>

■参加登録費の区分が変更になっておりますのでご注意ください。

■講演予稿集の発行形式はWebのみです。会期が終了して3ヵ月ののち、年会参加者以外による閲覧を可能とします。

参加登録

[注意事項]

講演申込者・講演者(登壇者)・連名者(共著者)の如何にかかわらず本年会に参加される方は、全員参加登録が必要です。

※一部招待者を除きます。

1 登録期間

(直前申込) 2023年3月15日～会期最終日

2 登録方法

春季年会ウェブサイト上の参加登録フォームよりお申し込みの上、参加登録費をお支払い下さい。

3 参加登録費

参加区分		参加登録費 (直前申込)	課税区分
会員	一般*1	18,000円	不課税 ※税の適用の対象外
	シニア/教育*2	12,000円	
	学生*3	6,000円	
	中高生(聴講のみ)	無料	
非会員	一般	32,000円	課税 ※左記の金額は税込
	学生	6,000円	

*1 個人正会員および法人正会員に登録している機関に所属の方。

*2 シニア会員、永年会員、終身会員、教育会員の方。

*3 学生会員、教育学生会員、ジュニア会員、中高生会員(登壇者)の方。

4 支払い方法

支払い方法はクレジットカード払いのみとなります。

●支払い完了した後、参加登録フォーム内にて領収書を発行します。領収書の発行はPDF形式のみです。

●請求書は、参加登録および決済手続き開始後に、参加登録フォーム内にて発行します。PDF形式のみです。書式の変更等には対応いたしかねます。公費払い・校費払いの場合も同様に書式変更には対応できません。

●郵便振替でのご送金は承っておりません。

5 参加票

参加票の事前送付はいたしません。参加者は自身にて参加登録フォームより参加票をダウンロード・印刷の上、会場にお持ち下さい。ダウンロードは3月8日から可能になります。参加票ホルダーは会場にて配布します。

各種企画一覧

本年会での行事、企画は下表の通りです。プログラム等の詳細情報は春季年会ウェブサイトにてご確認ください。

分類	企画名	3月22日(水)			3月23日(木)			3月24日(金)			3月25日(土)	
		午前	午後	夕方	午前	午後	夕方	午前	午後	夕方	午前	午後
	会長講演・表彰式					●						
	市民公開講座 かがくの挑戦											●
	わくわく実験教室 やってみよう！不思議な化学実験～デンブンのりで手品？～										●	●
	元素川柳				正午締切						結果発表	
	付設展示会	●	●		●	●		●	●			
▼ 以下は『シンポジウム企画』です。春季年会の参加登録が必要です。												
イノベーション共創プログラム（C-IP）	化学材料 DX におけるデータ収集とその活用										●	●
	PCP/MOF 実用化事例と機能開拓最前線				●	●						
	インフォマティクス基礎：今日から始めるデータ駆動型化学研究	●	●	●								
	マテリアルズ・インフォマティクスの新潮流とその実践的応用				●	●	●					
	太陽電池技術の次なる潮流～どこまで進んで、どこへ向かうのか？				●	●	●					
	カーボンネガティブの実現に向けた革新的触媒技術							●	●			
	ポストリチウムイオン電池研究開発の最前線	●	●									
	低炭素社会実現のための熱エネルギー有効活用技術										●	●
	バイオ医薬品の最前線を支えるスマートケミストリー	●	●									
	感染症を診断・予防するヘルスケアテクノロジー							●				
シンポジウム 中長期テーマ	未来の健康を支える創薬系バイオベンチャー								●	●		
	フレキシブル分子性結晶材料ソフトクリスタルによる革新的技術開発								●	●		
	生物間相互作用に関わる最新分子	●										
	シーケンシャル物質化学：原子・分子の精密序列配置に向けた新アプローチ		●									
	次世代分子システム化学のフロンティア協奏的機能発現のメカニズム					●						
シンポジウム アジア国際	インフォマティクスが拓く化学の新天地								●			
	人工光合成実現の鍵：光励起キャリアを観る・操る	●										
	International Symposium on Molecular Science—Physical Chemistry / Theoretical Chemistry, Chemoinformatics, Computational Chemistry—Cosponsored by Japan Society for Molecular Science		●	●								
	Asian International Symposium—Photochemistry—										●	
特別企画	Asian International Symposium—Inorganic Chemistry / Coordination Chemistry and Organometallic Chemistry—				●	●						
	光化学の新展開：合成、計測、機能のインタープレイ！					●						
	蛋白質ダイナミクス化学：蛋白質の動きを捉え操る化学と材料科学										●	
	サステナブル・機能レドックス化学の未来	●										
	ルミネッセンス化学アンサンブル：超スマート社会に向けた発光センシングの新展開											●
	次元制御がもたらす電子機能材料の新展開							●				
	未来の電池・電子材料技術を切り拓くコロイド分散凝集の科学と技術								●			
シンポジウム 本委員会主催	化学者のための放射光ことはじめ—XAFS の基礎と先端応用				●							
	▼ 以下は『併催シンポジウム』です。年会の参加登録は不要でどなたでもご参加いただけます。											
	（JST）さきがけ「自在配列」研究成果報告会				●	●						
	「発動分子科学」成果報告会～分子の発動が拓く次世代の化学～		●									
	（JST）CREST「革新的反応」研究成果報告会								●			
シンポジウム	全固体電池のプロセスサイエンス 第2回シンポジウム				●							
	論説フォーラム「日本の化学力を高めるために」							●				
	第29回化学教育フォーラム										●	
	ケミカルレコード・レクチャー 2023									●		

主催 公益社団法人 日本化学会

共催 東京理科大学

日本化学会 第103春季年会 (2023) 付設展示会

参加費
無料

羽ばたこう
ケミストリーの
大空へ

化学研究のために不可欠な試験・分析機器、情報処理システム、
試薬、書籍などの最新情報が集まっています。

会期 2023年 **3/22 水** ▶ **24 金**
9:30 ~ 18:00 ※年会は3/25日まで

会場 東京理科大学 野田キャンパス
森戸記念体育館

<https://confit.atlas.jp/guide/event/csj103rd/top>



出 展 社 名 一 覧

iケミカルラボ株式会社	一般社団法人化学情報協会	株式会社スクラム	日本電子株式会社
株式会社アイビック・リサーチ	株式会社化学同人	Spring-8/公益財団法人高輝度光科学研究センター	日本分析工業株式会社
株式会社朝倉書店	関東化学株式会社	株式会社セルシステム	株式会社パーキンエルマー・ジャパン
株式会社朝日ラボ交易	株式会社 QunaSys	善ケミカル株式会社	株式会社バキューブランド・サイエンティフィック・ジャパン
アヅマ株式会社	有限会社桐山製作所	株式会社ダイセル	浜松ホトニクス株式会社
アドバンスソフト株式会社	株式会社クリムゾンインタラクティブ・ジャパン	株式会社 DFC	富士シリシア化学株式会社
アドビオン・インターナショナル・サイエンティフィック株式会社	株式会社グローブボックス・ジャパン	株式会社デジタルデータマネジメント	富士フイルム和光純薬株式会社
株式会社イーシーフロンティア	株式会社高純度化学研究所	テクノアルファ株式会社	ブルカー・ジャパン株式会社
岩手大学ダイバーシティ推進室	株式会社 Co-LABO MAKER	株式会社テクノシグマ	ブロンコスト・ジャパン株式会社
Wavefunction, Inc.	コンプレックス株式会社	株式会社東京インストルメンツ	丸善出版株式会社
ACS アメリカ化学会	三共出版株式会社	株式会社東京化学同人	メトラ・トレード株式会社
FS CREATION	CEM Japan 株式会社	東京化成工業株式会社	株式会社モルシス
(国立大学法人東京大学、	CAS	東京ダイレック株式会社	山善株式会社
自然科学研究機構分子科学研究所、	株式会社シーエーシー	東京理化学株式会社	株式会社 UNICO
株式会社島津製作所、	ジーエルサイエンス株式会社	中村科学器械工業株式会社	株式会社ライトストーン
日本電子株式会社、	シーシーエス株式会社	株式会社中村超硬	株式会社リアクト
株式会社リガク)	株式会社シゲミ	中山商事株式会社	Royal Society of Chemistry
株式会社エマージングテクノロジーズ	株式会社システムハウス・サンライズ	公益社団法人日本化学会学術情報部	ワイリー・パブリッシング・ジャパン株式会社
株式会社エリカ オプティカル	ジャスコインタナショナル株式会社	公益社団法人日本技術士会 化学部会	渡辺化学工業株式会社
エルゼビア・ジャパン株式会社	ジャパンハイテック株式会社	株式会社日本サイエンスコア	
株式会社化学工業日報社	Springer Nature	日本製紙クレシア株式会社	

(50音順)